

製品名: ムスクリンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14247**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 22kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | MSC |
| 別名 | MSC; ABF1; BHLHA22; Musculin; Activated B-cell factor 1; ABF-1; Class A basic helix-loop-helix protein 22; bHLHa22 |
| 遺伝子 ID | 9242.0 |
| SwissProt ID | O60682 |
| 免疫原 | 抗血清はヒトムスクリン由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180 |

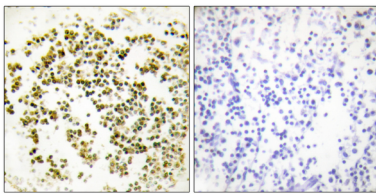
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は転写抑制因子であり、in vitro で E2A とホモ二量体またはヘテロ二量体として E ボック

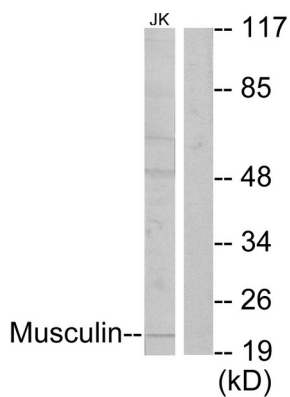
スエレメントに結合できます。また、コードされるタンパク質は in vivo で E2A タンパク質とヘテロ二量体を形成します。このタンパク質は、哺乳類細胞において E2A タンパク質である E47 の転写活性化能を阻害することができます。この遺伝子は、B 細胞受容体シグナル伝達経路の下流ターゲットです。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能:TCF3/E47 の転写活性化能を阻害できる転写抑制因子。抗原依存性 B 細胞分化の制御に役割を果たす可能性があります。、類似性:1 つの基本ヘリックス-ループ-ヘリックス (bHLH) ドメインを含みます。、サブユニット:効率的な DNA 結合には、別の bHLH タンパク質との二量体形成が必要です。ホモ二量体またはヘテロ二量体として DNA に結合します。 TCF3 とヘテロ二量体を形成する。組織特異性:リンパ組織、B 細胞株、活性化 B 細胞で発現する。

研究分野

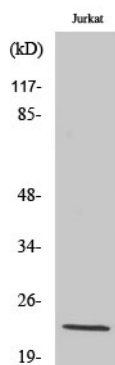
画像データ



Musculin 抗体を用いたパラフィン包埋ヒトリンパ節組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



Musculin 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 に希釈した Musculin ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。